

この研修は関西屈指の経営コンサルタント陣を擁する(公財)関西生産性本部が主催するもので、大阪中小企業投資育成(株)は、関西生産性本部と提携し本講座を会員特別価格にてご提供致します。

原因がわからなくても不良をゼロにできる。「なぜなぜ分析」がいない新手法 !!

# 不良ゼロへの実践アプローチ セミナー

—不良の要因・メカニズム・対策を具体的に解説!!—

## 論理的思考で進める「不良ゼロ」への実践アプローチ

～101の要因を見つけ、54の対策を打てば不良は必ずゼロになる!～

★日々の不良（異物、設備、ポカミス、キズ）にお悩みの方や

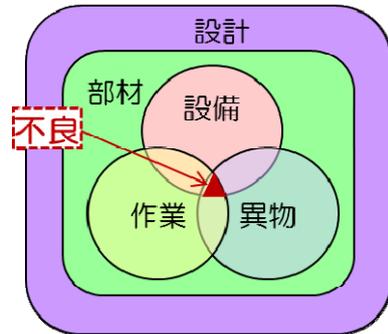
「なぜなぜ分析」に代わる新手法をお探しの方におすすめします!!

「不良」がゼロにならないのは、不良の要因と具体的な対策がわからないからです。

過去のコンサルティング経験から、「101の不良の要因」と「54の対策」を「論理的に進める10の改善ツール（アプローチ）」に体系化。それらのツールを活用することにより、原因がわからない不良であっても「なぜなぜ分析」を使わずに不良をゼロにすることができます。

本セミナーでは、基本的な考え方を「不良ゼロの9原則」で説明後、各改善ツール（アプローチ）を分かりやすく解説いたします。

★「不良」の要因は101	⇒	対策は54
★ 異物起因不良:36の要因	⇒	26の対策
★ 設備起因不良:20の要因	⇒	8つの対策
★ ポカミス(作業起因):27の要因	⇒	15の対策



### 開催日、場所

《オンライン受講》も可能です (Zoom を利用したリアルタイム配信を行います)。

開催日：2024年 1月23日(火) 10:00～17:00

場所：(公財)関西生産性本部 会議室(中之島センタービル28階) [大阪市北区中之島6-2-27]

### 内容

(おことわり) 最新情報をお伝えいたしたく、当日の「内容」が一部変更になる場合があります。

#### 0. はじめに：不良がゼロにならない理由

##### 1. 不良ゼロの9原則

- 原則-1：不良は結果
- 原則-2：不良の要因は101
- 原則-3：対策は54
- 原則-4：10のツール
- 原則-5：要素別改善  
⇒原因がわからなくても、不良はゼロにできる
- 原則-6：データ分析
- 原則-7：発生工程の見つけ方
- 原則-8：現物・現場
- 原則-9：現象の連鎖  
⇒「なぜなぜ分析」は、もういらぬ不良ゼロへのアプローチ

##### 2. 異物ゼロへのアプローチ

- (1) 異物は感性 (2) 感性とは
  - (3) 異物不良発生メカニズム
  - (4) 異物の正体 (5) 36の発生源と7つの伝達経路
  - (6) 異物のポテンシャルと徹底清掃
  - (7) 異物ゼロへのアプローチ
- 具体的な進め方 ①徹底清掃 ②異物対策

##### 3. 原則整備へのアプローチ

- (1) 設備改善の基礎知識
- (2) 原理とは、原則とは
- (3) 原則の流れは清掃で復元する
- (4) 20の原則の崩れ
- (5) 原則整備へのアプローチ

##### 4. ポカミスゼロへのアプローチ

- (1) ポカミスとは、ポカミスは結果、脳の機能
- (2) 27の要因、4つの考え方と15の対策
- (3) 知らなかった対策
- (4) 標準整備
- (5) うっかり対策：記憶ミス対策、集中力マネジメント
- (6) 限界作業改善：AIの活用
- (7) ポカミスゼロへのアプローチ

##### 5. キズゼロへのアプローチ

- (1) キズとは
- (2) キズ対策の基本的な考え方
- (3) 総合対策
- (4) 個別対策

○まとめ

○質疑応答

**講師** (株) ロンド・アプリウェアサービス 代表取締役社長 **中崎 勝氏**



1981年 (株)ブリヂストン入社、生産技術、設備設計に従事。'87年3月に同社を退職。同年4月日本DEC(株)に入社し、システムエンジニアを担当。'92年 (株)ロンド・アプリウェアサービスを設立、現在に至る。  
 様々な不良の撲滅やヒューマンエラー対策など製造現場の各種課題の改善において、短期間で効果を出すオリジナル・ツール(実践アプローチ)によるコンサルティングに定評がある。また、早くからIoT、AIのものづくりへの適用を提唱し、情物両面による課題解決を実践・指導している。【主な著書】『異物不良「ゼロ」徹底対策ガイド』('19年11月刊)、『ボカミス「ゼロ」徹底対策ガイド』('18年3月刊)、『やりたくなる5S新書』('16年2月刊)。\*いずれも日刊工業新聞社刊

**(株) ロンド・アプリウェアサービス コンサルタント** **大谷 みさお氏**



日立東京エレクトロニクス(株)入社、半導体製造部門に従事。1998年 (株)ロンド・アプリウェアサービスに入社、現在に至る。標準整備、原則整備や業務改善など製造現場の課題解決を、現場作業者と一体となって行う“現場実践型”コンサルティングをモットーとしている。また、ビデオ(動画)や写真、音声を使った現場作業の教育支援ツールや、そのための標準マニュアルの効率的作製の指導方法にも長けている。

**対象** (おことわり) コンサルタント業の方のご参加は、ご遠慮下さい。

■品質管理・品質保証部門のマネージャー、スタッフ ■製造・生産技術部門のマネージャー、スタッフ など

**参加費** ※1名につき ※会場定員：10名程度 **申込締切日** 2024年1月9日(火)

関西ならびに他地区 IE協会会員	<del>35,000円</del>	・参加費には、テキスト(カラー)代、消費税を含みます。 なお、昼食代は含みません。
生産性本部 賛助会員	37,510円	
<del>一般(会員外)</del>	<del>48,400円</del>	

必ず、下記の申込書でお申し込みください。上記賛助会員価格となります。

**お申込方法**

- 下記「参加申込書」にてお申込み下さい。
- 「参加証」、「会場略図」(会場講師のみ)、「請求書」ならびに『テキスト』類は、参加者あてに開催日の約10日前から発送いたします。 ※参加費は、「請求書」に記載の期日までに指定銀行へお振り込み願います。
- 2024年1月9日(火)以降のキャンセルは、参加費の全額を頂戴致します。(代理者をご派遣下さい)。
- 会場受講は、定員になり次第、受付を終了させて頂きます(先着順に受付)。
- 当日の録音・録画、写真撮影はご遠慮下さい。

**お申込み・問合せ先** 公益財団法人 関西生産性本部「関西IE協会」(担当:南、柏木)

〒530-6691 大阪市北区中之島6-2-27 (中之島センタービル28階)  
 Tel:06-6444-6464 Fax:06-6444-6450

(公財)関西生産性本部 柏木 行 FAX (06)6444-6450

**2023年度「不良ゼロへの実践アプローチセミナー」参加申込書('24年1/23開催)**

(ふりがな) 会社名	( )	会員区分 (ご加入の場合、レ印を お付け下さい。)	<input type="checkbox"/> 投資育成 <input type="checkbox"/> 生産性本部
	所在地 (〒 - )	E-mail: TEL:( ) - FAX:( ) -	
派遣者	事業所名、所属・役職名	氏名(ふりがな) ( )	
	事業所名、所属・役職名	氏名(ふりがな) ( )	
参加者	【所在地】 ※「派遣者」と異なる場合のみ、ご記入下さい。 (〒 - )	E-mail: TEL:( ) - FAX:( ) -	
	受講方法 ※いずれかにレ印をご記入下さい。	<input type="checkbox"/> a) 会場(関西生産性本部) ・ <input type="checkbox"/> b) オンライン	
	特にご関心があるアプローチをお示し下さい。 ※「上位3つまで」レ印をご記入下さい。	<input type="checkbox"/> ①不良ゼロ(9原則)、 <input type="checkbox"/> ②異物ゼロ、 <input type="checkbox"/> ③原則整備(設備改善)、 <input type="checkbox"/> ④ボカミスゼロ、 <input type="checkbox"/> ⑤キズゼロ	

※ 個人情報の取扱いについて (2023.09.22b)  
 ①参加申込によりご提供頂いた個人情報は、当本部の個人情報保護方針に基づき、安全に管理し、保護の徹底に努めます。なお、当本部個人情報保護方針の内容については、当本部ホームページ (<https://www.kpcnet.or.jp/>) をご参照願います。参加者・派遣者の皆様におかれましては、内容をご確認、ご理解の上、お申込み頂きますようお願いいたします。②個人情報、本事業実施に関わる資料作成、ならびに当本部が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内および顧客分析・市場調査のために利用させて頂きます。③本事業実施に関して必要な範囲で参加者名簿等の資料を作成し、当日講師と関係者等に限り配付させて頂きます。但し、法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。④個人情報の開示、訂正、削除については、本事業担当(Tel:06-6444-6464)または個人情報保護担当窓口(Tel:06-6444-6461)までお問合せ下さい。⑤本案内記載事項の無断転載をお断りします。